

# 施策評価表(平成19年度の振り返り、総括)

作成日 | 平成 20 年 4 月 30 日

施策No.	17	施策名	生涯にわたる健康づくりの推進
主管課名	健康センター	主管課長名	岡田 淳
関係課名	社会福祉課		

施策の目的 【対象】	市民	対象指標名	単位	17年度	18年度	19年度
		人口	人	46,913	46,723	46,459

施策の目的 【意図】	いつまでも心身ともに健康で暮らせるようになる。	成果指標名	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	22年度目標
		健康寿命	歳	男性 75.1 女性 79.5	男性 75.2 女性 79.6	未把握	男性 77.5 女性 82.0
		死亡率(悪性新生物)	対10万人	360.9	281.2	未把握	245.0
		死亡率(脳血管疾患)	対10万人	128.3	135.1	未把握	104.0
		市民一人当たり医療費(国保)	千円	476	480	未把握	450

成果指標設定の考え方	<p>平均寿命でなく介護等の必要のない年齢である健康寿命で捉えることで、いつまで健康であるかがわかるので、これを成果指標とした。</p> <p>当市での代表的な死因である「がん(悪性新生物)」と「脳血管疾患」の対10万人当たり死亡率と一人当たり医療費をみることで、これらの数値が低ければ、より健康であることがわかるので、これを成果指標とした。</p>
------------	---

成果指標の把握方法(算定式など)	<p>健康寿命は、健康センターの資料により把握 人口動態統計と介護保険給付者年齢等で計算した。 算式: 健康寿命 = 平均寿命 - 非自立率</p> <p>死亡率は、健康センターの資料により把握 人口動態統計第31表による。 一人当たり医療費は、市民課の資料により把握 「魚津市事務事業説明書」による。 算式: 一人当たり医療費 = 年間国民健康保険療養費 ÷ 国民健康保険被保険者数(12ヶ月の平均値)</p>
------------------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	市民	
	行政	健康づくりへの市民の取組を支援する。 支援策としては、健康に対する正しい知識の普及・啓発、健康の保持への支援、保健医療環境の整備等を行う。
	その他	

施策No.	17	施策名	生涯にわたる健康づくりの推進
-------	----	-----	----------------

19年度の 評価結果	1. 施策の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述) 健康寿命は、平成12年度の女性(80.4)男性(75.9)であったのが、平成18年度では、女性(79.6)男性(75.2)となっているが、これは、介護保険制度が始まった平成12年度と比較すると介護保険の要介護者等の増加によりやや短くなっている。 死因の第一位である悪性新生物については、18年度の死亡率は10万人当たり281.2人と17年度の360.9人を大きく下回っているが、これは17年度が経年と比べ異常に高い数値を示しているものであり、ほぼ横ばい状態である。しかしながら、依然として、国、県よりも高く、特に男性の胃がん、肺がん、女性の大腸がんが多い。また、脳血管疾患についても依然として高く、男性の介護原因の第一位であるため重要課題となっている。
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述) 国保の一人当たりの医療費を見ると、依然として年々増加傾向にあり、全国平均より高い富山県の中でも上位を占めている。この要因としては、高齢化率の上昇(25.7%)や市内の入院施設のある医療機関が充実していることも一因となっていると考えられる。
	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述)
	2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取り組み内容を中心に記述) 【健康に対する正しい知識の普及・啓発】 ・健康づくり意識の確立のため、平成19年3月に策定した「魚津市健康増進プラン」のダイジェスト版を各戸配布し、また、各種の健康教育・教室等の実施により健康づくり意識は着実に向上している。 【健康の保持への支援】・基本健康診査やがん健診の実施、あるこう会の実施。 【保健医療環境の整備】・休日救急医療在宅当番医体制の実施
	3. 施策の課題認識及び20年度の取り組み状況(予定) (19年度末で残った課題、既に20年度に取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述) 【健康に対する正しい知識の普及・啓発】・健康づくり教室等への参加者が、高齢者や女性が多く、40歳から50歳代の壮年層や男性の参加が少ない。そのため、職域連携ができるような体制づくりに取り組む。このことにより、壮年期の生活習慣病の予防に繋げる。結果として医療費の軽減にも繋がる。 【健康の保持への支援】・「魚津市健康増進プラン」掲げるライフワークに応じた健康目標を達成するために、実践しやすい環境づくりに努める。 【保健医療環境の整備等】・富山労災病院へのがん放射線治療装置(リニアック)の整備導入

	区 分	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績
施策の トータル コスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	11			
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	96,440			
	C. 事務事業に要する年間総時間	時間	5,300			
	D. 人件費 (C×1時間あたりの平均人件費)	千円	21,783			
	E. トータルコスト (B + D)	千円	118,223		0	0
効率性 指 標	対象(受益者)1単位あたり、若しくは市民1人あたりの施策の F. 事業費 (定義式 : B / 46,723)	円	2,064			
	同 上 G. 人件費 (定義式 : D / 46,723)	円	466			
	同 上 H. トータルコスト (定義式 : E / 46,723)	円	2,530			